

令和8年度 学校評価自己評価表 三次市立栗屋小学校

経営目標	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	自己評価		8月分析	8月改善方策	学校関係者評価を受けて	自己評価		1月分析	1月改善方策	学校関係者評価を受けて
					8月					1月				
					達成値	評価				達成値	評価			
確かな学力	自らの考えを豊かに表現することができる児童を育てる。 【表現力】	教科書の内容を理解し、活用問題も解くことができる。	① 低学年から、基礎基本的な学習内容の定着を確認し、組織的な指導・支援により、確実な理解・定着を図る。 ② 読む活動を意図的に取り入れ、読書活動の充実と文章理解の向上を図る。	単元末テスト(算数科、国語科)で知識及び技能の学校平均の正答率80%以上、思考力・判断力・表現力等の学校平均の正答率70%以上。										
		自分の考えを相手に伝えるように工夫して発表したり、書いたりすることができる。	① ICTの有効的な活用も視野に入れ、かかわり合いながら学ぶ場、自分の考えを伝え合う場を確保し、主体的な学びを深め、表現力を高める。 ② 算数科の研究を中心に「ノート指導の充実」に取り組む。 ③ 成果物出品により自己肯定感を高め、表現することへの自信と意欲を高める。	・発達段階に応じた学びの過程や振り返りをノート等に書いている児童80%以上。 ・成果物を前期・後期それぞれ3点以上作品応募に出品。										
豊かな心と健やかな体	心と体をきたえ、仲間とともにねばり強くチャレンジする児童を育てる。 【主体性】 【協働性】	自己肯定感・自己回復力を高める。	①教育活動全般において「えがく⇒やってみる⇒ふりかえる」の循環を通して、失敗を成功に生かすことにつなげる。 ②自分の強みを見つけたり、友達の良いところを見つけ伝え合ったりする活動を通して、自己肯定感向上につなげる。 ③指導者による、児童の活動(行動)の価値付けを行い、自己肯定感向上につなげる。	生活アンケートの項目のうち、自己肯定感、自己回復力に係る項目について、肯定的回答を22人中15人以上にする。										
		基本的な生活習慣の確立と体力向上を図る。	① 児童の運動への意欲向上につながる体育科授業改善や体育的行事(マラソン大会)、全校での体力づくりの取組(8の字跳び)を計画的・継続的に行い、体力向上を図る。	8の字跳びについて ・前期(7月) 4月の記録に対する1.5倍 ・後期(12月) 7月の記録に対する1.2倍										
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される学校経営を行う。	職場の心理的安全性を高める。	①情報共有を常とし、組織的対応を図る。 ②学校教育活動全般における提案や取組に対して、見直す視点を持つ。	教職員アンケートにおいて、肯定的評価80%以上にする。										
		児童が安心・安全に生活できる学校環境の維持、向上を図る。	①ホームページや通信等で学校の取組を定期的に発信するとともに、細やかな家庭連携を行う。	児童の肯定的評価90%以上にする。										

評価 / A=100%以上 B=75%以上100%未満 C=50%以上75%未満 D=50%未満